

# 平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市上白根地域ケアプラザ

## 2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなったのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

#### 【旭北地区】

「旭北まちぐるみ福祉推進会議」において、第3期地域福祉保健計画・地区別計画の推進を進めました。25年度に開始した「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」においては、サロンや趣味活動等が住民主体の活動として続くよう、側面的な支援を続けました。一方、多面的な地域との関わりの中で、見守りが必要な学齢期の存在が見え始めたことをきっかけに、小学生の見守りを兼ねた学習支援活動の取り組みを始めました。地域団体においては、地区連合自治会長所属の単位町内会が連合を脱退することになり、28年度より会長交代となりました。新体制の中で、新旧役員が連携し地域課題の解決に取り組める体制づくりの確認・対応が求められています。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- 利用者本位の施設運営を目指し、次の事項を進めました。
- 横浜市社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザとして、活動理念の「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作くり出す」を基に運営しました。
  - 世代を問わず、また障害の有無にかかわらず、地域の皆さんが主体的に参加できるよう事業を実施し、地域福祉の推進に努めました。
  - 高齢者のみならず、障害児者、子育て関係等様々な利用が想定されるため、施設内の通路をはじめ、各部屋、トイレ、洗面所等、誰もが使いやすいよう整理整頓を心がけました。
  - 協定書に基づき、施設管理、清掃業務を適正実施しました。
  - 建物整備、保守管理について、当初計画に基づき行いました。
  - 全職員からよせられた業務改善提案(全55件)の取り組みにより、利用者の安全確保や事務の省力化等を進めました。
  - 備品台帳の再確認を行い、不要な備品の廃棄を進めました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- 公的な施設であり、指定管理者として地域ケアプラザの役割を認識し、限られた予算内で適正な運営を行う為、経費の削減、資源の有効活用を心がけ、光熱水費の削減に努めました。
- 予算管理に基づく効率的な経営を実施しました。
  - 照明のLED化による省エネ対策を推進するとともに、リサイクル等を職員全員の意識向上を図りながら実践しました。

#### ウ 苦情受付体制について

地域住民や利用者から寄せられた苦情やご意見をマイナスとしてではなく、業務改善に必要な事由と捉え、施設・法人全体で苦情受付(対応)の体制構築を進めました。

- 苦情受付担当者及び実務責任者を置き、館内にわかりやすく掲示しました。
- 職員一人ひとりが「苦情解決」に積極的に取り組むことができるよう、法人のマニュアルをもとに適切に対処しました。
- 法人にて苦情解決調整委員会を開催し、苦情の報告及び評価を実施しました。
- 法人内で受付けた苦情の情報を共有し、本施設でも起こりうる問題として職員全体で苦情発生を未然に防ぐよう取り組みました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時体制を確立し、公の施設として災害時の対応や防災・防犯を進めました。

- 防災・消火・避難訓練を実施しました。（年2回）
- 特別避難場所としての対応、訓練を行いました。
- 地域ケアプラザ及び法人本部により重層的に対応する仕組みづくりを進めました。
- 地域の防災訓練や、連合自治会による防災フェスタ等の地域行事にも積極的に参加し、日頃からの顔の見える関係づくりを進めました。
- 緊急時対応マニュアルを職員全体で共有し、有事に備えました。
- AEDを常時使用できるように点検を行いました。

#### オ 事故防止への取組について

法人が運営する施設の事故報告を集計分析し、法人内の所長会・グループウエアで共有しました。その結果を受け、事故の分析／防止に向けた検討・対応を行いました。

- 事故や感染症の発生、職員の労災等について、地域ケアプラザ全体で「リスクマネジメント」を行う仕組みをつくり、実施しました。
- 事故対応マニュアルを始めとする、各種マニュアルの整備・更新を行いました。
- リスクマネジメント研修を実施し、意識向上・対応技術を向上させました。
- 事故に至らないケースは、ヒヤリハット事例として職員全体で共有しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の保護については、法人の「保有する個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に定められている具体的な取組を徹底しました。

- 個人情報が含まれる書類等は、鍵付き専用棚での管理を徹底しました。
- 守秘義務については、「なぜ守らなければならないか」について明文化したものを全職員に説明しました。
- 職員全体会議の場で個人情報保護にかかる研修を全員に行いました。

#### キ 情報公開への取組について

法人の情報公開制度を基にして、適切に対応を行いました。情報公開用資料を常設し、ケアプラザリーフレットの更新や、広報紙のカラー化などをすすめて、常に最新の情報が更新され、わかりやすく情報が伝わるよう取り組みました。

#### ク 人権啓発への取組について

法人内外の人権啓発研修に職員が複数参加し、人権意識の向上に努めました。また、職員全体会議において人権研修を実施し、障害者の人権尊重意識の醸成を図りました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

「ヨコハマ3R夢プラン」に基づき、ゴミの分別、少量化、再資源化に努めました。また、常時点灯している事務所及び一部の共用スペースの照明をLED化し、継続的な省エネ化を進めました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

看護師	1名（常勤）
主任ケアマネジャー	1名（常勤）
社会福祉士	1名（常勤）
介護支援専門員	1名（非常勤）

#### 《目標》

自立支援を目標とした、ケアプラン作成並びにモニタリング等の評価を定期的  
に実施し、適切なサービス利用の調整・手配を行いました。

地域包括支援センターの機能を活かし、地域のインフォーマル・サービスなど、  
様々な社会資源の活用を通じて、ご利用者一人ひとりの個性に応じた支援体制の確  
立に努めました。

広報紙やリーフレット等を活用し、地域包括支援センター機能を周知すると共  
に、委託先である居宅介護支援事業所との連携強化を進めました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

横浜市社会福祉協議会運営ケアプラザとして、地域・ご利用者最優先の取組み  
を進めてきました。担当者不在時でも、対応が滞らないよう体制を整え、情報共有  
を行いました。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	113	114	124	127	127
10月	11月	12月	1月	2月	3月
125	130	130	131	133	132

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）  
 介護支援専門員 4名（常勤1名、非常勤3名）

《目標》

個々のニーズに添った居宅サービス計画を作成し、住み慣れた地域で安心した在宅生活が送れるように支援を行いました。

ご本人の支援と併せ、地域包括支援センター・通所介護部門等との連携を更に深めることでご家族の支援を含めた「包括的支援」体制づくりを進めました。

- ① ご利用者の意思を尊重し心身の状況や環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活ができることを目標に居宅サービス計画を作成しました。
- ② 関係機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、多様な事業者から総合的かつ効果的にサービスが提供されるように調整し、公正中立な居宅サービス計画を作成しました。
- ③ 定期研修等により、職員の資質向上を図りました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① ご利用者一人ひとりのニーズに沿ったサービス計画を作成し、インフォーマルサービスも含め適切な情報提供を行いました。
- ② 地域ケアプラザにある居宅介護支援事業所ということ意識し、質の高いサービス提供ができるよう地域包括支援センター等の他部門との連携に努め、協働して課題解決に取り組みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
118	113	116	115	110	105
10月	11月	12月	1月	2月	3月
107	106	103	104	105	105

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

生活の一部として、安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供致しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
（要介護1）	614円	1,227円
（要介護2）	725円	1,450円
（要介護3）	837円	1,673円
（要介護4）	948円	1,896円
（要介護5）	1,060円	2,119円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
入浴加算	54円	108円
口腔機能向上	161円	322円
個別機能訓練加算Ⅱ	60円	120円
体制強化加算Ⅰイ	20円	39円
体制強化加算Ⅰロ	13円	26円
体制強化加算Ⅱ	7円	13円
中重度ケア体制加算	49円	97円
認知症加算	65円	129円
介護職員処遇改善Ⅰ	所定単位数に1,000分の40を乗じた単位数を加算	
● 食費負担	750円（一律）	

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15~15:20（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	5名（非常勤・兼務）	介護職員	13名（非常勤）
機能訓練指導者	5名（非常勤・兼務）	運転員	5名（非常勤）

《目標》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。

ご利用者の要望と心身の状況に応じた通所介護計画書を作成し、6か月を基本に更新を行いより個別性を重視したサービス提供に努めました。

地域へ積極的に出向き、出張講座等にて事業の周知を図りました。

広報等を発行し、PR活動を行うとともに各居宅介護支援事業所へ実施内容や受け入れ状況などタイムリーな情報提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各プログラムは、地域のボランティア団体並びに貸室ご利用団体などの協力を得て実施しました。

また内容においては、ご利用者様お一人おひとりの個性や状況に応じたプログラムの実施を心がけました。

横浜市消防局や教育実習生、地域の小中学校などからの実習・体験学習を受け入れました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
687	720	707	686	679	662
10月	11月	12月	1月	2月	3月
659	650	589	563	562	604

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

生活の一部として、安心して安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供致しました。

- 生活指導（相談援助等） ●機能訓練（体操・歩行練習、音読プログラムなど）
- 介護サービス（入浴・昼食・排泄等支援） ●健康状態の確認 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 基本額	1割負担分	2割負担分
①事業対象者、要支援1	1, 766円	3, 531円
②要支援2<週1程度>	1, 766円	3, 531円
③事業対象者、要支援2<週2程度>	3, 621円	7, 241円
● 加算額	1割負担分	2割負担分
生活機能向上Gp活動	108円	215円
運動器機能向上	242円	483円
口腔機能向上	161円	322円
サービス複数実施I	515円	1, 029円
● 体制強化加算Iイ		
①事業対象者、要支援1	78円	155円
②要支援2<週1回程度>	78円	155円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	155円	309円
● 体制強化加算Iロ		
①事業対象者、要支援1	52円	103円
②要支援2<週1回程度>	52円	103円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	103円	206円
● 体制強化加算II		
①事業対象者、要支援1	26円	52円
②要支援2<週1回程度>	26円	52円
③事業対象者、要支援2<週2回程度>	52円	103円
● 介護職員処遇改善I 所定単位数に1,000分の40を乗じた単位数を加算		
● 食費負担 750円（一律）		

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 10:15~15:20（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤・兼務）	生活相談員	3名（常勤）
看護師	5名（非常勤・兼務）	介護職員	13名（非常勤）
機能訓練指導者	5名（非常勤・兼務）	運転員	5名（非常勤）

《目標》

専門職として果たすべき役割を明確にし、各分野でのスキルアップを目標に職員研修を実施し意欲向上を図りました。  
 ご利用者の要望と心身の状況に応じた介護予防通所介護計画書を作成し、6か月を基本に更新を行いより個別性を重視したサービス提供に努めました。  
 地域へ積極的に出向き、出張講座等にて事業の周知を図りました。  
 広報等を発行し、PR活動を行うとともに各居宅介護支援事業所へ実施内容や受け入れ状況などタイムリーな情報提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

各プログラムは、地域のボランティア団体並びに貸室ご利用団体などの協力を得て実施しました。  
 また内容においては、ご利用者様お一人おひとりの個性や状況に応じたプログラムの実施を心がけました。  
 横浜市消防局や教育実習生、地域の小中学校などからの実習・体験学習を受け入れました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
12	11	10	8	7	4
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	9	10	11	11	16

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- 町内会館等で行われている地域団体の会合や、昼食会等へ積極的に出向き、活動支援及びプラザのPRに勤めました。
- 地区の老人クラブや昼食会、サロン等への参加を通じた顔の見える関係作りに取り組みました。
- 地区こども連絡協議会や6月より定期開催している「こどもの居場所兼学習支援事業」を通じた子育て支援者との連携や地域のこどもと顔の見える関係づくりを進めました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- 地域ケア会議等に地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが参加し、連携に努めました。
- 5職種会議を定例開催し、情報共有及び課題解決に向けた検討を行いました。
- 地域住民及び地域活動団体の会合等に積極的に出向き、事業の周知、ニーズ把握、介護予防事業の取り組み等の周知に取り組みました。特に高齢化等による福祉課題の多い市営住宅自治会役員会に地域活動交流コーディネーターが参加し、得た情報を地域包括支援センターと共有し、個別支援につなげました。

### 3 職員体制・育成

- 全職員と管理者との面談を通じた計画的OJTや業務改善のチーム別取組等を年間通じて展開しました。
- 法人の人材育成計画に基づく基幹研修・課題別研修・職種別研修への参加に加え、ウィリング横浜、県社協、全社協、行政等が行う各種研修会に積極的に参加し、伝達研修による共有を図りました。
- 法人内の職種別連絡会等を含む、職員育成・課題検討の場に参加しました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- 「こどもの居場所兼学習支援事業」の立上げに伴い、地域の子育て関係機関、小学校、児童委員等との新たな連携を進めました。
- 地域のクリニックや薬局をまわり、地域包括支援センターの説明と広報紙配布の定期実施を開始しました。

### 5 区行政との協働

- 地域ケア会議、巡回相談等を通じた個別課題の共有・対応検討に加え、困難ケースにおいては都度区担当者へ連絡し、情報共有に努めました。
- 地域福祉保健計画・地区別計画の推進について、旭北地区支援チームの一員として、推進支援を協働で進めました。



## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地区内の住民活動の拠点となっている「上白根コミュニティハウス」の運営委員会にオブザーバー参加し、情報共有を進めるとともに、日常的な連携も進めました。
- 広報紙「あさがお通信」を3月末までに年11回発行し、自治会および地域の各団体、施設等へ配布しました。
- 地域情報や自主事業の開催・報告を掲載した広報紙を本施設のホームページへ掲載しました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 経年劣化した備品設備の修繕・更新を進め、利便性の向上に努めました。
- 時間・人数を明確に記載してもらうことにより、複数の団体が有効に会場利用をすることができました。また、定期利用が重なる場合は、団体相互に話し合い利用調整を図ることができました。
- 防災避難訓練の実施や避難経路等の周知により、もしもの時に備えました。

### 3 自主企画事業

- 半年に及ぶ検討の後、新規事業として、6月より「子どもの居場所兼学習支援事業」を新たに立上げました。
- 異世代交流事業「ぷらざ・かふえ・ゆるり」を毎月1回開催。同事業にて、コーヒーボランティアによるコーヒー喫茶の場が定着してきました。また、居宅介護支援部門、地域包括支援センター部門からの紹介による参加者もあり、部門間連携を進めることができました。
- 新規の取組として、乳幼児の親子の孤立に伴う虐待防止から親子の外出の創出と、同世代の親子の交流・仲間づくりの場として「リトミック」を開催しました。幼稚園・保育園入園前の社会参加の準備、および、音楽を通し、身体的、感情的に情緒豊かな子どもの成長を育むため支援してきました。
- 年間計画に基づき、各事業を企画し実施しました。参加者へ企画説明を行い、事業後には事業報告を作成し、所内で共有しました。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 「子どもの居場所兼学習支援事業」の実施に伴う地域のボランティア育成を進めました。夏季には、旭陵高校の学生がボランティアとして参加してくれました。
- 毎月1回の異世代交流サロン「ぷらざ・かふえ・ゆるり」を上記ボランティアの活動の「場」として位置付け、継続的な活動につながっています。また、サロン参加者の得意分野を活かし、おりがみ講座の講師として活動につなげました。
- ケアプラザ登録ボランティア情報を随時更新し、デイサービスや自主事業でのボランティア活動につなぐことができました。
- 地域及び区域のボランティア活動情報を区社協と共有し、活動希望者の受け入れ・対応などを協働により進め、ボランティア活動につなげました。
- 小・中・高校生の職業体験とボランティアコーディネートを兼ねデイサービスでの体験につなげました。
- 高校生のキャリア企画研修として区社協と共催し、1年生全員を対象としてケアプラザでのボランティアの紹介を行いました。

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- 地域の皆さんが安心して相談できる身近な窓口として、即時対応・全員対応に努めました。
- 民児協との更なる連携を進めるために積極的に地区定例会へ参加し、情報交換や情報提供、個別相談を行いました。
- 地域ケア支援会議等でケースに関する情報交換や支援方法を検討し、地域での見守り活動や継続的支援へつなげました。
- 各団体定例会等に参加し、相談の有無に関わらず顔の見える関係づくりを進めました。
- ケアプラザ内5職種（生活支援、地域活動交流、地域包括支援センター3職種）会議の場で、各職種が把握しているケースの検討を行いました。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- 関係各方面に地域ケア会議への積極的な参加を呼びかけ、公民協働による包括的ネットワーク構築を進めました。
- 地域ケア会議、地域ケア支援会議の開催や地域福祉保健計画地区別計画の推進支援等を通じて、行政・地域包括支援センター・地域住民（民生児童委員等）の情報共有を進め、個別性の高い見守り体制づくりを進めてきました。
- 事業所（ケアマネジャー等）の交流会や勉強会を企画・実施し、地域情報の共有を行いました。

### 実態把握

- 地域の各会議・事業等への参加や、ケアプラザ自主事業の実施により情報やケースの把握・情報交換・共有を図りました。
- エリア内周辺の医療機関や居宅介護支援事業所等を定期的に訪問し、個別ニーズや圏域ニーズを把握しました。
- 広報紙によるご意見募集、利用者アンケートやご意見箱等を活用し、個別・地域ニーズの把握に努めました。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- 消費生活推進員と協力し悪質商法・消費者被害等に関する情報を地域住民へ広く周知を行いました。
- ひかりが丘地域ケアプラザ/今宿西地域ケアプラザ/白根地域ケアプラザの社会福祉士、区社協あんしんセンター専門員、区役所と連携し、成年後見制度に関する事業等について実施しました。
- 旭区版エンディングノートワーキングチームに参加し、エンディングノートの作成に協力しました。また平成29年度から実施予定の活用講座について検討しました。
- 区社協あんしんセンターと地域包括支援センター社会福祉士との合同研修に参加し、相互の業務についてより深く関係を築く機会をつくりました。

### 高齢者虐待

- 虐待が疑われる場合は、迅速に区役所、関係機関等への情報提供を行い、必要に応じてネットワークミーティングを実施する等、チームとして対応を進めました。
- 本施設通所介護部門・居宅介護支援部門、また地域団体や関係機関等と定期的に情報共有を行うことで、地域における高齢者の見守り支援体制づくりを進めました。

## 認知症

- 前期（5月～9月）・後期（11月～3月）の第2・4金曜日に閉じこもり、認知症予防目的で「金曜日こいの広場」を開催しました。
- 地域団体（旭区ひまわりの会）との協働もしくは地域ケアプラザ単独で認知症の正しい理解のための普及啓発（サポーター養成講座や出前講座）などを行いました。
- 地域ケアプラザを拠点として活動する介護者の会「介護者の輪」への情報提供等により継続的な運営支援を行いました。

## 3 介護予防マネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- 介護保険のサービスだけでなく、エリア内のインフォーマル・サービスの把握に努め、要支援者及び事業対象者に対し、ケアプラン上で活用していけるよう取り組みを進めました。
- 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの適切な管理運営を行うために、法人及び事業所内で相互点検を実施し、法令順守に則った管理運営に努めました。
- 近隣地域包括支援センターとの協働により、勉強会等を通じて委託事業所ケアマネジャーとの連携をはかり、地域の社会資源を活用したケアプラン作成について情報共有を進めました。

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 各団体定例会や地域行事、食事会等へ地域包括支援センター職員が積極的に参加し、地域包括支援センターの役割や介護保険制度等の説明を行いました。特に民児協や自治会町内会役員には、個別説明等を通じて、地域と地域包括支援センターとのつながり役となっただけのよう継続的に制度説明を行いました。また個人情報には充分配慮したうえで、対応結果は可能な範囲で地域に情報を伝えていきました。
- 地域ケア会議を開催し、地域の状況確認や関係機関との連携を進めました。

### 医療・介護の連携推進支援

- 地域包括支援センターエリア内の医療機関へ個別に訪問し、顔の見える関係づくりを進めました。
- 近隣地域包括支援センターとの協働により、ケアマネジャーと医療機関との情報交換会を実施しました。

### ケアマネジャー支援

- ケアマネジャーから地域包括支援センターへ上げられた相談に対して、相談内容に応じた支援が継続的に取り組めるよう体制づくりを行いました。
- 居宅介護支援事業所などを訪問し、ひとり事業所や経験の浅いケアマネジャーが支援困難な状態に追い込まれないよう必要な情報提供を行いました。
- ケアマネジャー同士の連携支援及びスキルアップを目的とした勉強会を開催しました。
- ケースによっては同行訪問やサービス担当者会議の開催支援及びスーパービジョンを行いました。
- 区ケアマネジャー連絡会への支援を行いました。
- 区と共催で新人・就労予定ケアマネジャー研修を年2回実施しました。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- 地域ケア会議等について関係機関へ積極的な参加を呼びかけ、地域全体で包括的支援体制づくりを進めました。
- 地域包括支援センター3職種は主に個別支援への対応を基本として、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターは地域支援の視点での参画、区役所・区社協は日常生活圏域を越えた区域の視点での助言など、それぞれの職域において役割分担を行い、効果的にネットワーク構築を進めました。
- 民生委員や自治会町内会、地区社協などへ働きかけを進め、また個別ケースにおいては当事者や家族へのアプローチを行うことで「自助・共助・公助」が重層的に機能する地域づくりを目指しました。

## 5 介護予防事業

#### 介護予防事業

- 今年度から自主化したペタンクのグループについて、後方支援をすすめました。
- 各町内会館等にてシニア健診や介護予防・健康についての講話、介護予防普及啓発を行いました。
- ケアプラザから離れた場所にある大原南北自治会館で行った体操教室では、29年度完全自主化を見据え支援していきました。
- 栄養・口腔講座に興味を持っていただけるよう工夫して介護予防普及啓発を行いました。
- 転ばん体操を定期的に行う事で介護予防に興味を持っていただき介護予防の取り組みを勧めていきました。
- 「笑いヨガ」の事業を企画し、体操だけではない対象者の幅も広げ介護予防の取り組みも進めていきました。
- 地域で実施したさくら祭に参加し、健康測定を行う事でケアプラザの普及啓発を行いました。

## 6 生活支援体制整備事業

### ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

- 地域包括支援センターや地域活動交流部門より得られた情報をもとに、生活支援コーディネーターによる地域訪問を積極的に行い、既知の活動の状況把握と、新たな社会資源の把握に努めました。
- 得られた情報はデータベース化し、地域ケアプラザ内部で共有すると共に、区社協1層生活支援コーディネーターとも共有しました。

### 圏域レベルの協議体の設置・開催

- ケアプラザから離れて位置し、高齢化率・要介護認定率ともに高いことが判明した地域を含む自治会を対象に、第2回包括レベル地域ケア会議と同時開催しました。結果、ひとり暮らしでも元気な高齢者は多い一方「閉じこもり・介護予防」「緊急時の連絡先の把握」「班単位のコミュニケーション強化」等の地域課題を参加者で共有することができました。また、近隣特別養護老人ホームと自治会との連携のきっかけの場となりました。

### 圏域レベルの目標・取組事項の設定

- 担当エリアは1)古くから住む住民が所属する町内会 2)高度経済成長期以降に宅地造成された戸建分譲住宅地の自治会 3)社宅跡地に建設されたマンション 4)市営住宅・県営住宅の自治会 に大別され、高齢者の生活ニーズはそれぞれ異なると考えられます。そのため、目標・取組事項の設定・共有を自治会・町内会の協力のもと小地域単位で行うことで具体的な働きかけにつなげていきます。

### 具体的な取組事項への着手

- より身近な地域における住民活動支援として、自治会・町内会館、個人宅、福祉施設等を活用した場作りの調査・検討を進めています。

## 7 その他


# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：横浜市上白根地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業	
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	16,763	23,449	151	0	0	0	0	5,789	
	介護保険収入	0	0	0	4,621	17,418	80,661	0	0	
	その他	98	25	0	2,738	0	132	0	0	
	介護予防ケアマネジメント費			0	2,738	0	0	0		
	参加費収入			0		0	17	0		
	雑収入	98	25	0		0	115	0		
	事業外収入			0		0	0	0		
	利息収入			0		0	0	0		
	その他事業収入			0		0	0	0		
<b>収入合計(A)</b>		<b>16,861</b>	<b>23,474</b>	<b>151</b>	7,359	17,418	80,793	0	5,789	
支出	人件費	9,582	18,877	0	2,409	15,437	52,744	0	7,844	
	事務費	1,909	1,561	0	7	88	1,216	0		
	事業費	820	675	151	3,426	974	23,596	0	196	
	管理費	5,223	1,296	0	0	0	228	0		
	その他	767	0	0	0	997	4,191	0	0	
	施設利用料相当額									
	サービス区分間繰出金等		0	0		997	4,191	0	0	
	消費税	767	0	0	0	0	0	0	0	
<b>支出合計(B)</b>		<b>18,301</b>	<b>22,409</b>	<b>151</b>	5,842	17,496	81,975	0	8,040	
<b>収支 (A)－(B)</b>		<b>-1,440</b>	<b>1,065</b>	<b>0</b>	<b>1,517</b>	<b>-78</b>	<b>-1,182</b>	<b>0</b>	<b>-2,251</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
お茶のみサロン (前半)	高齢者	38,618	15,718	22,900	9,000	29,618	0
	295人						
	100～200円						
おもちゃの貸し出し	子ども	0	0	0	0	0	0
	45人						
	無料						
図書コーナー	地域	0	0	0	0	0	0
	63人						
	無料						
福祉用具貸し出し	地域	0	0	0	0	0	0
	73人						
	無料						
上白根ギャラリー	地域	0	0	0	0	0	0
	43人						
	無料						
合同歌声喫茶2016 (収支は実行委員会)	地域	0	0	0	0	0	0
	436人						
	500円						
上白根ふれあい農園	地域	11,608	11,608	0	0	11,608	0
	44人						
	無料						
ぷらざ・かふえ・ゆるり	地域	23,488	11,888	11,600	0	16,768	6,720
	195人						
	100円～200円						
A2ライン共催事業 「七夕祭り」	親子	0	0	0	0	0	0
	114人						
	無料						
ワイワイあさひ 「夏の全体会」 (収支は団体)	障害者	0	0	0	0	0	0
	72人						
	500円						
親子deイベント「梅雨を吹き とばせ！親子でお祭りさわぎ」 (親子グループ遊 共催)	親子	4,470	3,770	700	0	2,790	1,680
	39人						
	一般参加者のみ100円						
上白根カラオケ倶楽部	地域	6,000	6,000	0	0	6,000	0
	347人						
	無料						
おやすみ前の リラックスヨガ講座	地域	38,920	18,520	20,400	35,000	0	3,920
	85人						
	300円						
ママのための ヒーリングヨガ講座	親子	55,600	40,600	15,000	50,000	0	5,600
	123人						
	300円						
リトミック	親子	57,780	33,780	24,000	47,000	0	10,780
	192人						
	300円						

# 平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ちびゆるり	親子	0	0	0	0	0	0
	10人						
	無料						
お茶のみサロン (後半)	高齢者	47,545	18,945	28,600	5,000	42,545	0
	336人						
	100~200円						
白根学園「麦の丘」 パン販売	地域	0	0	0	0	0	0
	792人						
	無料						
青少年花だんづくり	子ども	29,235	29,235	0	0	25,875	3,360
	34人						
	無料						
子どもの居場所兼学習支援	子ども	285,732	285,732	0	240,650	21,562	23,520
	678人						
	無料						
ジュニアボランティア	子ども	0	0	0	0	0	0
	31人						
	無料						
かみしらねキッズ倶楽部 (ビー玉万華鏡づくり)	子ども	12,090	6,690	5,400	4,500	6,750	840
	49人						
	200円						
かみしらねキッズ倶楽部 (廃油で作る石けん作り)	子ども	5,640	840	4,800	0	4,800	840
	45人						
	200円						
かみしらねキッズ倶楽部 (アイスクリームづくり)	子ども	10,340	6,140	4,200	4,500	5,000	840
	34人						
	200円						
横浜旭陵高校 地域貢献デー	高校生	0	0	0	0	0	0
	28人						
	無料						
ケアプラザ ふれあい交流会 「子どもも楽しめる古典落語」	地域	10,000	5,400	4,600	10,000	0	0
	30人						
	無料						
ケアプラザ ふれあい交流 コーヒー喫茶店	地域	4,245	4,245	0	0	4,245	0
	34人						
	無料						
おやすみ前の リラックスヨガ講座 第2期	地域	44,480	31,280	13,200	40,000	0	4,480
	74人						
	300円						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー 出店事業	地域	235	235	0	0	235	0
	613人						
	無料						
白根小学校 デイサービス交流会	子ども	0	0	0	0	0	0
	90人						
	無料						



# 平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
貸館団体利用説明会	地域	6,022	6,022	0	0	6,022	0
	39人						
	無料						
A2ライン共催事業 「ひなまつり」	親子	0	0	0	0	0	0
	80人						
	無料						
教えて! グランマ	地域	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	30人						
	無料						
ワイワイあさひ クリスマス会 (収支は団体)	障害者	0	0	0	0	0	0
	91人						
	500円						
プラザ活動 ボランティア感謝	地域	10,950	10,950	0	0	10,950	0
	39人						
	無料						
上白根地域ケアプラザ 20周年まつり	地域	110,867	89,867	21,000	0	110,867	0
	282人						
	無料						
コミュニティハウス共催事業 さくらまつり	地域	0	0	0	0	0	0
	104人						
	無料						
		818,865	642,465	176,400	450,650	305,635	62,580

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成28年度 自主事業収支報告書

(単位:円)

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症サポーター養成講座	地域	0	0	0	0	0	0
	78人						
	無料						
賢い老人ホームの 選び方講座	地域	0	0	0	0	0	0
	35人						
	無料						
成年後見制度特別講習会 (他包括、区社協との共催)	地域	0	0	0	0	0	0
	18人						
	無料						
楽しく、明るく、脳活	高齢者	0	0	0	0	0	0
	81名						
	無料						
きずな CP・大原南北	高齢者	156,440	156,440	0	132,000	0	24,440
	371名						
	無料						
くつろぎの場	高齢者	15,000	0	0	15,000	0	0
	55名						
	無料						
介護者の輪	地域	0	0	0	0	0	0
	57名						
	無料						
金曜日こいの広場	高齢者	0	0	0	0	0	0
	489名						
	無料						
介護サービス事業者連絡会	保健医療福祉従事者	0	0	0	0	0	0
	85名						
	無料						
ケアマネサロン 「かみしらね福祉アカデミー」	介護事業者	0	0	0	0	0	0
	119名						
	無料						
地域ケア支援会議	地域	0	0	0	0	0	0
	21名						
	無料						
		171,440	156,440	0	147,000	0	24,440

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市上白根地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶のみサロン (前半)	概ね65歳以上の高齢者（独居高齢者、高齢者世帯）の閉じこもり防止・外出機会の創出、並びに仲間づくりの場を提供することを目的として開催しました。 共催：ボランティアグループ「すみれ会」	毎月第3土曜日 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃの貸し出し	地域の子育てサロンや個人宅での親子の交流に使用してもらうことを目的として、手づくりボランティアに製作してもらった布おもちゃを中心に、ケアプラザで保管するおもちゃの貸し出しを行いました。	随時 45件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
図書コーナー	子どもに気軽に立ち寄ってもらえるよう、また図書館に一人で行くのが困難な方にも気軽に本を読んでもらえるよう、図書の貸し出しやケアプラザで読書をする機会の場を提供しました。	随時 63件/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具の貸し出し	ケアプラザで保有する福祉用具を、緊急的及び一時的に必要とする方へ貸し出すことを目的に実施しました。	随時 73件/年

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
上白根ギャラリー	地域住民の絵画や写真などの作品をケアプラザに飾り、生きがいづくりのために実施しました。	随時 43件/年

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶 2016	歌を通じての社会参加と仲間づくりを目的として開催しました。（区内全地域ケアプラザ後方支援）	5月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根 ふれあい農園	農園ボランティアの協力によりケアプラザ空きスペースを有効活用し、野菜や花を育て、収穫物を自主事業等に使用しました。 また、ボランティアの発掘・育成や、土いじりを通して地域住民相互の交流の場としました。	4-3月 概ね第2金曜日 計14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらざ・か ふえ・ゆるり	地域住民の居場所づくり、世代間の交流の場として開催しました。折り紙、編み物等をしながら交流を図りました。 また、コーヒーボランティアの活動の場所としても提供しました。	4-3月 毎月第2火曜日 計12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
A2ライン共催 事業 「七夕祭り」	旭北地区の子育て中の親子を対象として、子育て支援グループA2ラインと一緒に、七夕祭り（流しそうめんや手遊び、パネルシアター等）を通して、仲間づくりや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催しました。	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ 「夏の全体会」	障がい当事者の外出機会の創出と余暇支援、地域住民との交流を目的としてワイワイあさひ実行委員会との共催により夏まつりを実施しました。	8月 計1回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deイベント 「梅雨を吹きとばせ！親子でお祭りさわぎ」	就園前の親子を対象として居場所づくり・ふれあいの場を提供しました。 共催：親子グループ遊	6月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根カラオケ 倶楽部	地域住民の交流の場として、また脳トレの一環としてカラオケ倶楽部を開催しました。	4-3月 第3水曜日 毎週木曜日 計59回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやすみ前のリラクソヨガ講座	ヨガを通して質の良い睡眠につなげ、健康づくりと地域住民の仲間づくりの場の提供を行うことを目的として開催しました。	6-9月 計7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママのためのヒーリングヨガ講座	ヨガを通して健康を意識するとともに、乳幼児期・学童期の子どもを持つ母親の交流の場、地域の仲間づくりの場の提供を目的に開催しました。	5-2月 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミック	リトミックを体験し、親子の交流の場、地域の仲間づくりの場の提供として開催しました。	4-3月（8月休み） 毎月第3木曜日 計11回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちびゆるり	親子の交流の場と、地域の仲間づくりの場の提供として開催しました。	4-3月（8月休み） 毎月第3木曜日 計11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶のみサロン （後半）	概ね65歳以上の高齢者（独居高齢者、高齢者世帯）の閉じこもり防止・外出機会の創出、並びに仲間づくりの場を提供することを目的として開催しました。 共催：ボランティアグループ「すみれ会」	毎月第3土曜日 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根学園「麦の丘」パン販売	地域作業所との共催で、障がい当事者の外出の機会と地域住民との交流を目的として開催しました。	4-3月 第3金曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青少年花だんづくり	ケアプラザ周辺に住む小学生以上の児童・生徒を対象にケアプラザ敷地内となっている歩道内緑地に花だん作りをし、地域住民の憩いの場の提供および、造成を通じ、異年齢の参加者同士の交流また、農園ボランティアとの交流の場として開催しました。	5-3月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの居場所 兼学習支援	ケアプラザ近隣の小学生を対象に、学習支援を兼ねた子どもの放課後の居場所として開催しました。異年齢の子ども同士の交流や地域ボランティアとの交流を図るとともに、子育てを支援しました。	6-3月 計42回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ジュニアボランティア	小学生の福祉啓発を目的として、地域の民生委員児童委員との協働によりケアプラザ内で福祉体験を実施しました。	9月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらねキッズ倶楽部 (ビー玉万華鏡づくり)	地域の小学生の親子を対象にケアプラザを身近に感じてもらうこと、地域の小学生同士の交流を図ること。更には、夏休みの余暇支援を兼ね科学体験することを目的として開催しました。 講師：科学読物研究会会員	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらねキッズ倶楽部 (廃油で作る固形石けん作り)	地域の小学生の親子を対象にケアプラザを身近に感じてもらうこと、また、障がい者事業所の支援と障がい者との交流をおよび、地域の小学生同士の交流を図ること。更には、夏休みの余暇支援を兼ね科学体験することを目的として開催しました。 講師：辻のあかり	8月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かみしらねキッズ倶楽部 (アイスクリームづくり)	地域の小学生の親子を対象にケアプラザを身近に感じてもらうこと、地域の小学生同士の交流を図ること。更には、夏休みの余暇支援を兼ね科学体験することを目的として開催しました。 講師：科学読物研究会会員	8月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域貢献デー	横浜旭陵高校からの依頼で、高校生の地域貢献を目的として実施しました。 当初は、上白根地域ケアプラザの花壇および敷地内の草取りとグリーンヒル上白根横浜市営住宅の周りのゴミ拾い、デイサービスの車磨きをする予定でしたが、当日雨天のため、車イス体験とボランティアについての研修として実施しました。	9月 計1回



# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ ふれあい交流会 講演会 「子どもも楽しめる古典落語」	ケアプラザのPRを目的に古典落語を通し、旭区内でも多発している詐欺被害の予防対策講座と地域住民の生きがいづくり、また、介護疲れの息抜きを目的に開催しました。	10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ ふれあい交流 コーヒー喫茶店	ケアプラザで活動しているコーヒーボランティアと地域住民の相互交流とケアプラザのPRを目的として、ふれあい交流会開催期間中に、コーヒーボランティアによるコーヒー喫茶を開催しました。	10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやすみ前のリラックスヨガ講座 (第2期)	ヨガを通して質の良い睡眠につなげ、健康づくりと地域住民の仲間づくりの場の提供を行うことを目的として開催しました。	11, 12, 1, 2月 計9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出店事業	区内ケアプラザPRのため、区民まつりにブースを出店しました。(区内地域ケアプラザ共催)	10月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
白根小デイサービス交流会	白根小学校からの依頼で、小学生の福祉啓発を目的として、ケアプラザデイサービスご利用者との交流を目的に実施しました。	11月 計3回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸館団体利用説明会	当ケアプラザ貸館登録団体を対象に適正かつ快適に貸館を利用していただけるよう、利用手引きを使用し、平成29年度からの施設利用変更に伴う変更点を中心に説明会を開催しました。また、各団体の活動を周知し、利用者同士の交流を目的に開催しました。	12月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
A2ライン共催事業「ひなまつり」	旭北地区の子育て中の親子を対象として、子育て支援グループA2ラインと一緒に、ひなまつり（豚汁、手遊びやパネルシアター等）を通して、仲間づくりや気軽に相談できる関係づくりを目的として開催しました。	2月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
教えて！グランマ	手づくりボランティアの協力のもと、入園・入学グッズづくりを通し、異世代交流の場、地域の仲間づくりの場の提供として開催しました。	2月 毎週水曜日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワイワイあさひ「クリスマス会」	障がい当事者の外出機会の創出と余暇支援、地域住民との交流を目的としてワイワイあさひ実行委員会との共催によりクリスマス会を実施しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラザ活動ボランティア感謝	上白根地域ケアプラザ事業において、平成28年度、ボランティア活動を行っていただいたボランティアへ、感謝状ならびに記念品を贈呈しました。	3月 計1回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
上白根地域 ケアプラザ 20周年まつり	ケアプラザ開所20周年を記念し、「上白根地域ケアプラザ20周年まつり」を実施しました。	4月 計1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
さくらまつり	上白根コミュニティハウスのお祭りにケアプラザブースとして出店し、血管年齢測定・スライムづくりを開催し、地域ケアプラザのPRおよび参加者の健康増進意欲向上および住民ニーズの把握として、アンケートを実施しました。	3月 計1回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	地域住民を対象に認知症の基礎知識についての正しい理解、認知症の理解者・応援者となるべくサポーターを養成するため、実施しました。	10, 11, 1, 2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
賢い老人ホームの選び方講座	今までの相談対応の中で「今はまだ元気だけど、いつ何があるか分からないので今から老人ホームについて知りたい」という質問が数件あり、地域からの要望に応えるために、老人ホームについての基礎的な内容から専門家にご講義いただきました。	7月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度特別講習会	今宿西、ひかりが丘、白根地域包括支援センター、旭区社会福祉協議会との共催で成年後見制度について地域住民に広く周知するために講演会を開催しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
楽しく明るく脳活	身体を動かしながら認知症予防を行い、介護予防についての普及啓発を図りました。	6-10月 計5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きずな CP・大原南北	地域ケアプラザから離れた場所で介護予防教室を行いケアプラザの普及活動と共に、介護予防教室の新たな場所として地域の方が主体となって行える様、自主化に向けてアプローチを行いました。	4-3月 計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くつろぎの場	白根台第九自治会くつろぎの場において、介護予防講座として、体力測定・介護予防体操・ペタンク・栄養についての話しを実施しました。	5, 10, 2月 計3回

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の輪	介護者を対象に定期的にはリフレッシュする機会を提供し、情報交換を行いました。	4-3月 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金曜いこいの広場	脳の活性化や認知症予防に関心のある概ね65歳以上の方を対象に、参加者同士の交流、脳トレや体操を通じて、介護予防の啓発を目的として開催しました。	4-3月 計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護サービス事業者連絡会	エリア内周辺の居宅介護支援事業所及び、介護保険サービス事業所を対象に研修、エリア情報の提供、意見交換を行いました。（ひかりが丘地域ケアプラザ・今宿西地域ケアプラザと共催）	5, 10月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン「かみしらね福祉アカデミー」	ケアマネジャーを対象とした定期的な勉強会を実施。明日からの業務に活用できるスキルアップを目指して実施しました。（ひかりが丘地域ケアプラザ・今宿西地域ケアプラザと共催）	6, 9, 12, 2月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア支援会議	地域における総合相談強化のため、地区民児協、旭区社協、区高齢障害支援課との連携を深めるために実施しました。	5, 11, 1月 計3回 *ほか3回は他会議等一体化

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばん体操 2016(前期)	地域における介護予防の拠点として身体作りから健康福祉に関する話等、総合的な介護予防教室として実施しました。	4-9月 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って健口	健康を保つために大切な口腔ケアを、音楽療法と楽しんで行うことにより、より一層効果が高まることをねらいに実施しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って栄養	食に関する意識を高め健康な身体作りを学ぶことをねらいに、栄養教室と音楽療法を実施しました。	12月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばん体操 2016(後期)	地域における介護予防の拠点として身体作りから健康福祉に関する話等、総合的な介護予防教室として実施しました。	10-3月 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑いヨガ	顔の見える関係を作り楽しみながら認知症予防を行う事が出来るよう、脳トレと体操の一環として実施しました。	11-12月, 2-3月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転ばん体操 グリーンヒル	グリーンヒル上白根自治会向け介護予防として身体作りから健康福祉に関する話等、総合的な介護予防教室として実施しました。	10-3月 計5回 *講師の都合により 1回未実施